

新社長

New president

タムロン社長

あしきか しろう
鯨坂 司郎 氏



78年(昭53)立命館大経卒、同年タムロン入社。90年タムロンヨーロッパ社長、05年執行役員、10年取締役、13年常務、14年専務、15年副社長。鹿児島県出身、61歳。3月30日就任。

「現業を進化させ、新事業も育成する。営業出身の私が経営全般を担うが、3人の副社長には販

光学技術で新事業育成

「タムロンは2018年12月期に売上高920億円(15年12月期比27.9%増)、営業利益86億円(同91.1%増)、ROE(株主資本利益率)10%以上とする中期目標を掲げる」

「現業を進化させ、新事業も育成する。営業出身の私が経営全般を担うが、3人の副社長には販

「趣味はゴルフ。座右の銘は松下幸之助氏の「日々是新なれば、すなわち日々是好日」。この言葉を常に考え、仕事を

「研究開発を担う「研究開発センター」を1日

「研究開発を担う「研究開発センター」を1日

【京都】サムコは海外営業の人員を増強する。欧米やアジアの拠点を中心に約20人を配置しているが、2018年7月期までに倍増する。それにより現在は26.5%にとどまっている売上高の海外比率を、2、3年内に50%まで引き上げたい考えだ。拠点のないインドでは、大学院生のインターンシップ(就業

80%が一般的。加えて同社が得意とする研究開発向け装置への需要も底堅く、営業力の強化によって伸ばす余地は大きいと見ている。

半導体のインターネット商社を通じて販売する。送電側と受電側で構成され、消費税抜き価格はそれぞれ3万9800円程度と2万9800円程

【東大阪】中央電機 島区、畑野淳一社長、(66)は、スマートフォンなどのタッチパネル製造所(大阪市都

ル製造用に周辺電極配線の微細欠陥検査装置を開発した。900万画素の電荷結合素子(CCD)カメラを縦横方向に制御移動させて撮った画像でパターン照合検査する。4月6日に受注活動を始める。消費税抜き価格は1500万円から、目標は初年度10台。

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

配線の微細欠陥検査

中央電機 島区、畑野淳一社長、(66)は、スマートフォンなどのタッチパネル製造所(大阪市都

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」



検査装置本体(奥)と検査結果の表示画面

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

「今までは目の前の事業や商品に関する技術開発に取り組んでいたが、10-20年後を見据えた技術シーズの開発が必要だ。光学や機構の設計をはじめ材料の開発を行う。当面は5人体制で稼働する」

大阪タウン TOWN



手作りのおもちゃで遊ぶ子どもたち

つながり大事に 社協フェスタ、催し多彩

【中央区】 社会福祉協議会の取組を促進する「フェスタ」が、中央区上本町2丁目、社会福祉協議会会館で15日(日)開催された。...

23日、書評漫画グランプリ 審査員は、児童文学作家の合本ヒロ子さん、国際日本文化研究センター特任助教で上方演芸研究家の古川誠人さん、海老川尚志「安定志向」の福田真生さん、漫画家の大西正典さん、立西高校校長の小西正典さんら。...

【西区】 若者の読書習慣を指図されるなか、10代の若者に本への関心を高めてもらうと狙っている。小学生の部と中学生以上の部は午後2時から4時半。定員は20人で先着順。...

ターも実行された。おれも暖かおちちや作「コナ」などが、今年で15周年を迎え、多くの家族連れが訪れた。...

仏像眺め まったり

カフェ&ショールーム 大阪商人の癒やしの場

「会いに行ける仏像、連れて帰れる仏像」がコンセプトの店内。仏像を眺め、癒やしの場を提供している。...

中小企業 寸法測定 大幅に効率化

複雑な形状ほど省力実現



複雑な形状ほど省力実現

【中央区】 寸法測定に特化した「中央電機計器製作所」が開発した3次元測定装置が、複雑な形状の部品を高精度で測定できる。...

晴明丘パパさんくV奪還 バレーボール「晴明丘カップ」の試合結果やチーム紹介。...

『上方芸能』好評発売中! 1968(昭和43)年創刊の総合芸能雑誌です。...

セミナー(患者様向け)のご案内 北大阪インプラントセンター。...

九州の日本酒で乾杯しませんか! 焼酎だけが九州の酒ではなかった。九州の日本酒をご紹介します。...

さあ、出番

中央電機計器製作所社長

はたの じゅんいち 氏 畑野 淳一



父の畑野吉雄現会長が還暦時に65歳で社長を譲ると宣言。そのとおりに実行した。明るく元気が信条で「当社とかかわるすべての人と喜びを共有し、モノづくりの課題解決。パートナーであり続けたい」と抱負を語る。営業部長時代に「依頼された洗浄装置を、中小企業の工房で顧客の納得いくものに完成させたことが特に印象に残っている」という。

計測制御メーカーとして、一品一様の特注品をハード、ソフト、機構部の設計から製造まで一貫できる強みを生かしながら、環境配慮製品に挑戦し、発光ダイオード(LED)照明事業を新たな柱に成長させる考えだ。同社は創業80年を超え「100年企業に向け自社を発展させること」を自らの使命にする。寸法自動測定装置に並ぶ計測器のパッケージ製品の確立などの目標を掲げる。趣味は野球で草野球歴は約8年。阪神タイガースの大ファン。大学卒業式にはタイガースのユニフォームを着て出席した。

(大阪・香西貴之)

100年企業への発展使命

97年(平9)岡山理科大工卒。00年中央電機計器製作所入社、03年技術部長、10年営業部長、11年専務。大阪府出身、38歳。4月1日就任。(大阪市都島区内代町2の7の12)



産産ネットワーク



中央電機計器製作所 畑野 吉雄社長

はたの・よしお 父が創業した測定装置メーカーの中央電機計器製作所に71年入社。90年に経営を継いだ。05年4月から大阪府中小企業同友会の代表理事。64歳。

中小連携で商機開拓を

「2012年の経営環境をどう見えていますか。」「欧州の経済危機は、小には関係ないように見えるが重大。欧州から米国、中国へと波及するといわれているからだ。中小含めて中国と取引をしている国内企業は多く、直撃を受けるという危機感がある。」「足元の状況は。」「東日本大震災で分断されたサプライチェーン(供給網)の影響で受注が半年遅れになるなど、去年は厳しい1年だった。11年12月期決算は売上高が落ちたが、なんと黒字を確保した状態。検査装置を作っているから、自動車向け検査装置の業界は明るが分かれてる。ハイブリッド車(HV)は、ハイブリッド車(HV)向けに納入している企業は好調。一般車向けは厳しい。」「田高で大手の生産拠点を海外シフトが加速しています。」「ほんの数年前、『大手から安定的に仕事をもらっているから大丈夫』という経営者が多かった。今は少なくなった。海外シフトは

まさに発注元が減るといって。大手の下請けも不安定さが増している。」「どう対応しますか。」「中小企業でも逆境を乗り越え、下請け型から開業型に転換した企業は多い。日本の中小の技術力が世界で高く評価され、提携を狙う海外企業も増えている。」「生き残るためのキーワードは。」「産産ネットワークだ。異業種の企業同士が互いの商品の代理店となる戦略を提案したい。5年ほど前から取り組む。約10社と代理店契約をした。製品を相手の本社に展示してもらったり、営業で一言加えてもらったり。そこを通じて得た仕事では一定の対価を支払う。足がかりのない市場に参入するきっかけにもなり、少しずつ売り上げも伸びている。」「昨年、大阪では橋下

毎日新聞 2012年(平成24年)2月20日(月)夕刊

中央電機計器製作所



大阪

「ハグ」で世界に人脉拡大

行っ。得意のコミュニケーションツールは「ハグ(抱擁)」。出会う人は要入でさえも全てに「ハグ」して、心を解きほぐす。「ハグ」で人脉を築き、事業を拡大させてきた。いつても過言ではない。時代の流れに乗り、計測器だけではなく、電子・IC(集積回路)、ナノテク、そして環境ビジネス分野にも参入。現在、ベトナムで環境ビジネスに取り組み始めているが、この時も「ハグ」が効果を発揮した。また海外進出の積極展開と同時に、中国人など外国人採用も行い、社内グローバル化を進める。「ハグ」は世界共通言語と語る畑野社長。これからはグローバルな展開を続ける。(大阪産業創造館フランチ、松原充生子)

会社設立 1930年 資本金 1000万円 従業員 43人
所在地 大阪市都島区内代町2の7の12 連絡先 電話06・6953・2366 E-mail eigyou@e-cew.co.jp

逆境越える発想に期待

国内の企業数で見ると99.7%が中小企業。その7割が赤字経営という。作ればものが売れる時代はとうに過ぎ、常に新しい発想を求められている。自動車用部品のほぼ専業だったが医薬品製造部品に活路を見出した。消費意の圧縮技術で固形入浴剤という消費者向け商品を開発した会社。関西でもみな、手探りで生き残りを図っている。中小は日本の雇用を支え、これからその役割を求められるだろう。逆境を乗り越え、企業の数だけ成功事例が生まれることを期待したい。(田幸香純)

徹氏率いる「維新の会」が知事、市長のダブル選を制しました。期待と注文は。「無駄をなくすという方向付けは必要。中小企業施策では、ばらまきの補助金行政ではなく仕事をつくるような取り組みをして欲しい。現状では、いいものを作っても、行政の入れ代は実績がないという理由で採用はわずか。そうした不合理的を改善して欲しい。」「関西が元気になるには、日本に人を呼び込むことだろう。中国人社員が日本を旅行したときに「街並みがきれい」と言っていた。入り口は観光になるかもしれないが、製造業にも波及効果を生むはず。留学生の受け入れ促進も一つの案。国内人口のグローバル化で若年層を増やし、活気づけて欲しい。」「おわり

経営情報



Special Interview スペシャルインタビュー
[アメリカンフットボール監督]

鳥内 秀晃

アメリカンフットボールという
ツールを通じた人間教育、
社会に出る土台づくりが目標

現代の匠たち Vol.9
日本画用絵具

経営のヒント～業績経営術～
根本特殊化学株式会社

新発想企業探訪 丸中株式会社

こんどどこい 香川県 小豆島町 桶仕込み醤油
海外ヒックス バルカン半島編

使い勝手の良い計測機器で存在感

株式会社中央電機計器製作所

ソフトからハードの設計・開発・製造まで一貫したさまざまな技術力を武器に計測機器の分野で存在感を立っている株式会社中央電機計器製作所会長の畑野善博氏は「小さくとも一流の会社。世界を視野に入れた会社を目指して、ここまで来ました」とこれまでの歩みを振り返る。

1930（昭和5）年に創業。ユーザーのニーズに応じた数々の計測・設計システムを設計・製造してきた。現在の主力製品のひとつである寸法自動測定装置はCCDカメラを使って対象物の表面寸法を高精度で測定できる。ソフトとハードの両方を自社でまかなう

ため、ユーザーの要望にきめ細かく対応でき、使い勝手の良い機器を提供できるのが強みだ。

従業員は45人だが「文系・理系を問わず、真にもの作りが好きな人」を採用。新しいことに挑戦し続ける社風が学生たちにも人気で、入社競争率は20倍以上という。

海外展開にも早くから取り組み、今年に20回は海外出張。社員たちも頻りに海外へかけて出張を呼んでいるという。

近年はLED（発光ダイオード）事業に参入し、街路灯や工場灯も製造している。畑野氏は「国産にあふれた技術者集団として21世紀の覇望を切り開いていきたい」と語る。



「当社には地味な仕事が多いですが、なにかがユーザーが求めていると知ると、高いモチベーションで取り組んでいます。」
畑野善博氏

注目! 元気カプセル

1924（大正13）年に創業し、各種機械装置の部品などを製造してきた株式会社TNK。90年近い歴史で培った技術力を武器に、約10年前から福祉分野の自社製品開発に取り組み、数多くの製品を生み出している。業務取締役の田中勲氏は「販売面ではこれからだが、さまざまな製品開発と既製品製品の改良を進め、製品の愛用を促したい」と意気込みを語る。

自動車や電気製品、ロボットなどもさまざまな機器開発に対応できる設計から加工、組み立てまでを一貫した総合力が同社の強み。近年は半導体製造装置関連の部品やプリント基板事業としてもが、半導体は市況の変

動が激しく業績が安定しない（田中氏）ことから、自社製品開発に乗り出したい。一歩先を踏み出すべく、さまざまな製品を開発したが、移動補助用具の「かざり」が、プラスの技術を生かして製造した、軽くて持ち運びが容易な製品で、ベッドと車いすを繋ぎ合わせる補助装置も、まさにこれだ。

ほかにも、災害時に光で近くの手信号、誘導する「直線」に引いたラインシステムの他に、自立した歩行補助装置「歩行」を開発。障害者などの販売を優先に選んでいる。



「ソフトとハードの両方を自社でまかなうことで、ユーザーの要望にきめ細かく対応でき、使い勝手の良い機器を提供できるのが強みだ。」
田中勲氏

機械装置製造の技術を福祉分野に活用

株式会社 TNK

わが社の留学生の積極活用戦略について



(株)中央電機計器製作所会長
畑野 吉雄 氏
はたの よしお

- POINT**
- 1 中堅・中小企業が世界市場へ進出する際に、本社自体を海外へ移転することは考えにくい。日本にいながら海外展開するため、グローバル人材の活用が必要である。
 - 2 留学生は優秀であるが、日本人同様、さまざまな悩みを抱えている。日本人以上に親身に接することが重要である。
 - 3 留学生をはじめ、世界中の人々との一期一会の出会いを大切にしている。出会いをきっかけにコラボレーションを生み出し、ビジネスチャンスをつかんでいきたい。

中央電機計器製作所の海外展開と留学生の活用

周知のとおり、今後の世界市場の成長の主役はアジアの新興国、特に東南アジアである。2015年以降は、ASEAN経済共同体(AEC)の設立によってさらなる経済発展が予想されており、日本の企業数の99.7%を占める中堅・中小企業もその市場に熱い視線を送っている。しかし、大企業とは違い、中小企業が世界市場に進出する際に、本社自体を海外に移すということはまず考えられない。日本にいながら海外展開するため、グローバル人材の活用が必要となってくる。

当社の場合、中国、米国、フランス、シンガポールなど世界各地の展示会に出展することで、世界市場に進出している。海外との取引をきっかけに、世界各地からVIPが訪れるようになり、若手社員が海外企業への対応を身につけるきっかけとなっている。

留学生の採用と社内での活用

当社では毎年、新卒学生を定期採用しているが、十数年前に初めて米国人の留学生を採用した。また、7年前に中国人3名を採用して以来、毎年のように留学生を採用している。新入社員の8割が留学生だったこともある。

留学生には優秀な学生が多く、日本語を学び、日

本文化になじもうと努力している。話を聞くと、聞いて涙が出てくるほど、苦勞して日本で学んでいる人も少なくない。「母国に帰り起業したい」といった高い志を持った学生もいる。適性検査の結果も面接結果も日本人を上回る場合が多く、純粋に成績だけを見れば、留学生ばかりを採用することになるほどである。

留学生の採用にあたっては、最初は苦勞することも多かった。例えば、初めての就労ビザ取得に際しては、それまで当社で留学生の採用実績がなかったことから、入国管理局に理田書の提出を求められた。また、日本語が不得意な学生を採用した際には、総務部長が留学生に同行し、入国管理局に補足説明をした行った。画によってビザの発給基準が異なるため、なかなか許可が下りないこともあった。しかし、何度か留学生を採用すると、過去の採用実績が評価されるようになり、今は申請に苦勞することはほとんどない。配属にあたり、国籍・性別は区別していない。基本的な能力さえあれば、どんな仕事にも対応できると考えているため、文系・理系の区別もない。

留学生との接し方

実際に留学生を採用してみると、留学生社員同士の結び付きの強さに驚いた。日本人では考えられないことだが、ある時、留学生社員たちの間で、それぞれ給与・手当・賞与などの情報がすべて共有されて

いたことがあった。同期入社で金額に差があった時には、その説明を求められることさえあった。また、同じ出身国同士の場合などは、他社の留学生とも頻繁に情報交換を行っており、待遇面について他社と比較される場合もあった。

留学生同士の結び付きは確かに強いが、決して彼らだけでコミュニケーションを形成するわけではなく、国籍の別なく、日本人社員ともうまく付き合っている。留学生も日本人同様、働くことに対する不安を抱いている。また、周りの日本人からどのように見られているかを気にしている。

だからこそ、彼らとコミュニケーションをとる際は、「日本の父・母」と思ってもらえるよう親身に接することを心がけている。例えば、月1回、社内定例会を開き、そこでは留学生社員が母国の料理を振る舞うことがある。また、日本人の若手社員も含め、年数回、私の自宅でホームパーティーを開催するなど、仕事上での付き合いではなく、恋愛のこともオンラインペーントなどの母国を訪れた時には、親元を訪問したり、逆に家族が来日した際には必ず面会するようにしており、まさに家族ぐるみでの付き合いを行っている。

留学生の採用による社内の活性化

留学生を採用したことによって、社内が大きく活性化し、社員がいそいそと仕事をしようになった。留学生の中には、幼少期に祖父母など年長者と同居していたという人も多く、幅広い世代との交流経験から、日本人以上に優しさと長幼の序を身につけている。

社内における一番の変化は、海外出張の増加である。これまでに社員の6割が海外出張を経験しており、私も、年平均20回は渡航している。社員に対しては、海外出張の際に、公共交通機関や地元のビジネスホテル、レストランを利用することをすすめている。観光客や日本人向けの施設を知ることができないからである。現地に駐在している大企業の日本人社員の中には、日本人のコミュニティーからほとんど出ないために、その土地の風土を知らない人も多く、この点が日本企業の弱みであると考えている。

一期一会の出会いを大切に

これまで、留学生をはじめ国内外で数多くの人との出会いがあった。私は、どんな場面でも「一期一会」を大切にしている。「一期一会」という考え方は、どの国にも存在する、世界の人々の共通認識であると考えている。

「一期一会」を大切にしているのは、ビジネスの場面だけではない。例えば、長時間のフライトの際には、席が隣になった人とは必ずコミュニケーションをとり、目的地に着くときにはすっきり意気投合することもある。また、言葉は通じなくても心は通じる。私は、出会う人とはハイタッチをすることで、心を通わせている。

当社では、この4年間、留学生を含めたインターンシップ生を受け入れ続けており、昨年はオーストラリアやブラジル出身の学生も受け入れた。また、経済産業省のキャリア官僚も研修生として受け入れるなど、幅広い人との出会いがある。

企業の成長にも出会いが必要である。それが毎年新卒採用を行っている理由である。若い社員にこそチャンスを与え、新規事業を任せており、彼らが新しいアイデアや製品を産み出す源泉となっている。人の出会いを通じて、コラボレーションも生まれる。コラボレーションを生み出すための努力は惜しまない。朝一番の新幹線で東京の会社を訪問し、ビジネスに結び付けたこともあった。

私は、何事も「念ずれば夢かなう」と考えている。多くの留学生は何かしら夢を持って入社してくれている。夢を叶える舞台に企業規模の大小は関係ない。今後は、彼らの夢を叶えたり、さらに夢を与えられるような経営者になりたいと考えている。

本稿は、2014年3月18日の開催地「グローバル人材育成・活用委員会」における講演の要旨である。